

# K.I.T.虎ノ門大学院 シラバス - ビジネスアーキテクト専攻

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務室[メール or 電話])

※ 授業中の食事は控えてください。また、携帯電話をマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		区分/コード	単位数	VOD 閲覧	開講期
IT フレームワーク特論1		主要科目 W141	1	学内 のみ	2期 (前学期)
Practical IT Framework 1					
担当教員名	メールアドレス	連絡方法/オフィスアワー			
大野克己 野村宣生	-	メールアポイントにて随時			

関連している科目(履修推奨科目)	
IT フレームワーク特論2	IT フレームワーク演習
授業の概要と到達目標	
授業の主題と概要	
<p>フレームワーク、あるいは、枠組みの意義は、とりわけ、最初に取り組むときに、関係者間で共通の認識を持つことができる点で大きい。</p> <p>世の中には、様々なフレームワークや知識体系と呼ばれるものが存在している。この授業で取り上げる COBIT や、あるいは ITIL、PMBOK などの有名なものもあれば、コンサルティング会社などで蓄積された経験やノウハウの集大成として、特に、新しく入社してくるメンバーや新任のマネジャーに対するトレーニングなどに活用されているものもある。</p> <p>「同じ業種でありながら、なぜ業績(ビジネスパフォーマンス)に差が出るのか。」</p> <p>「ビジネスパフォーマンスの向上に役立つ IT システムをどうすれば構築することができるのか。」</p> <p>特色のある様々なビジネスにおいて、汎用的なフレームワークとして活用可能なビジネス・モデル・キャンパス(BMC)を活用した経営課題の洗出しや、IT ガバナンスのフレームワークとして国際的に最も活用されている COBIT フレームワークの活用した IT プロセス改善提案策定のワークショップを通して、実務におけるマネジメント層とのコミュニケーションに役立つ観点を身に着ける。</p>	
到達(修得)目標	
<p>コンサルタント、または、プロジェクトマネージャーとして、マネジメント層とプロジェクトの現場メンバーとの効果的なコミュニケーションで留意すべきことを知る。</p>	
受講対象者	
<p>コンサルタントまたはプロジェクトマネージャーを目指す人</p> <p>業務責任範囲:プロジェクトの企画・推進、ビジネスモデルの変革、IT ガバナンスの確立・維持</p>	
履修上の注意事項やアドバイス	
<p>※ 欠席が、<b>2コマ(90分=1コマ)</b>を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。</p> <p>※ 本科目は、2コマ連続クラス(180分×4日間、合計8コマ)で構成する。</p> <p>※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。</p>	

コンピテンシ修得目標							
知識領域(Y軸)		ヒューマンパワー(Z軸)			思考プロセス(X軸)		
Y1: 基盤テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画		○	
Y2: 応用サービス		Z2: 独創力	○	X2: 構想		○	
Y3: ビジネスプロセス	○	Z3: ソリューション力	○	X3: 調査・分析		○	
Y4: ビジネスモデル	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発		○	
Y5: ビジネスマネジメント[ビジネス]	○	Z5: 変革推進力	○	X5: 変革		○	
Y6: ビジネスマネジメント[知財]		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用		○	
-	-	Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証		○	
-	-	Z8: オーナーシップ力	○	X8: ライフサイクル		○	
プラクティカム							
イベント/ケース		教育技法		マテリアル/ツール			
1	COBIT による改善提案策定	ワークショップ					
2	BMC を使った経営課題の整理	プレゼンテーション					

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	50%	毎回、事務室より出席簿を準備する。 プラクティカムでのアウトプットに関しては、履修生が作成した資料における重要概念の理解度と使いこなし方を評価する。 また、本科目では、知識の獲得に加えて重要概念を充分理解した上での行動(プレゼンテーションやディスカッションでの発言など)に学習の重点を置いているので、その確認の場である授業への出席も重視する。
プラクティカムでのアウトプット	50%	
合計	100%	
テキスト、参考図書 など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください ※		
テキスト (購入が必要)	オリジナルテキストを配布	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」アレックス・オスターワルダー他著/小山 龍介訳/(株)翔泳社	
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備	担当者	時間
1,2	課題を整理するフレームワーク 「同じ業種でありながら、なぜ業績(ビジネスパフォーマンス)に差が出るのか。」 BMC を活用した経営課題の洗出しについて議論する。	特になし	大野 野村	180 分
	マネジメント層向け企画提案のフレームワーク 「ビジネスパフォーマンスの向上に役立つ IT システムをどうすれば構築することができるのか。」 マネジメント層が理解しやすい企画提案のフレームワークについて議論する。	特になし		
	イベント			
3,4	COBIT 概要 COBIT のフレームワークの理解を行うための講義を行う。IT ガバナンスの現場でフレームワークが実際、どこでどのように使われているのかなども紹介する。	特になし	(ゲスト) 熊坂	180 分
	COBIT による改善提案策定ワークショップ(1) ケースを利用して、IT 統制の成熟度の診断を実際に行う。0-5 の各段階の成熟度を判定するために必要なツールと実際に診断を行うことで、COBIT をより深く理解する。	特になし	野村	
	イベント			
5,6	COBIT による改善提案策定ワークショップ(2) COBIT をベースとしてIT部門のガバナンス改善のための提案を作成する。どのようにして改善内容を作成し、適用するのがよいか体験し COBIT の活用方法を修得する。 事例をもとにした演習を実施する。ケーススタディの例示や演習問題についてグループディスカッションする。最後に、その結果のプレゼンテーションを実施する。	特になし	(ゲスト) 熊坂	180 分
	COBIT による改善提案策定ワークショップ(3) COBIT をベースとしてIT部門のガバナンス改善のための提案を作成する。どのようにして改善内容を作成し、適用するのがよいか体験し COBIT の活用方法を修得する。 事例をもとにした演習を実施する。ケーススタディの例示や演習問題についてグループディスカッションする。最後に、その結果のプレゼンテーションを実施する。	特になし	野村	
	イベント			
7,8	例題1: 営業利益を増加させるために あなたは、人から請われてある会社の社長をやることに。営業利益を増加させるための課題を、BMC を活用して整理する。	特になし	大野 野村	180 分
	例題2: 事業継続のために ある会社に勤めるあなたは、突然、その会社の事業継続のプロジェクトに配属されることになった。BMC を活用して、この会社の事業継続の課題を整理する。	特になし		
	イベント			

学習内容やスケジュール等、状況に応じて、一部変更・改善が生じる場合もあります。  
 講義収録は、特別講師を招く場合を含め、事情によっては収録できない場合もあります。  
 予めご了承ください。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名: 野村